

## テーマ説明シート

テーマタイトル	アフタースクール及び子どもルームにおける長期休業中の昼食提供に係るアイデア
---------	---------------------------------------

1 困っていること	現在、1事業者において、市内全域で弁当の配送サービスを行っている(市の財政負担なし)が、以下の課題がある。 ・子ども向けのメニューがなく、施設内で電子レンジによる加熱ができないため、自然解凍による提供となっている。 ・注文・料金徴収は保護者と事業者の間で完結させたいが、現在の事業者とは別の事業者で対応できるところが無い。また、注文締め切りが早いため、急な注文に柔軟な対応ができない状況となっている。
2 テーマに関する背景	昨年度に比べて、昼食提供の利用率が減少している。 メニュー内容について改善を求める声が多く、利用を控える保護者が増えていると考えられる。
3 提案に際し知りたいこと	本提案は、試行的な取り組みを踏まえ、今後、市内全域での昼食提供を見据えた体制整備を進めていくことを想定している。 対象の施設数は189、夏休み 28日間の提供食数は9300食程度。
4 提案者側のメリット	市内全域のアフタースクール及び子どもルームを対象として、継続的な受注機会が得られる。また、地域密着型の取り組みとして市との連携実績を築くことができ、事業の信頼性や認知度の向上につながる。
5 千葉市これまでの取組み (参考となるページへのリンク)	長期休業期間中の昼食提供は、保護者の昼食準備にかかる負担軽減を目的に弁当配達サービスを実施してきたが、現状では利用が限られており、内容が利用者の期待に十分に応えられていない状況である。今後は、より利用しやすく、実情に即した提供方法の検討が課題である。
6 こんなアイデアがほしい ※あくまで一例であり、その他の提案を妨げるものではありません。	弁当調理・市内配達・料金徴収をコーディネートしてアフタースクール及び子どもルームへの弁当配達を可能にするアイデア。 (例:調理事業者と配達事業者の情報が集積したプラットフォームの構築・運用により、両者のマッチングを行い、弁当配達を可能にする仕組みなど) 以下の条件も満たすことが望ましい。 ・子ども向けのメニューがあり、加熱不要。 ・保護者から直接弁当事業者が注文を受け、料金を徴収する仕組みがある。 ・急な注文やキャンセルへの柔軟な対応が可能。 ・市内全域または一部地域での配達が可能。
7 スケジュール	令和8年度の夏休みより、既存の昼食提供の一部地域で、新たな提供方法や運営体制の試行を実施する予定。試行の結果や利用状況を踏まえ、順次対象地域を拡大していく予定。
8 費用負担	弁当費用は原則保護者負担で、配達手数料等の一部は市の公費負担を検討

	中。
9 千葉市の役割	長期休業期間中の昼食提供にあたり、活用可能な弁当事業者の情報を運営事業者へ周知し、事業実施の円滑化を図る。また、配達手数料等の公費負担についても検討を進めている。
10 担当部署	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習振興課